

9. 四国（地域別調査機関：四国経済連合会）

（－：回答が存在しない、○：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなる やや良くなる	—	—
		商店街（代表者）	・懸案のスーパー跡地の売却先が決定し、来年度中に1階が店舗の高層マンションとなる予定であり、期待している。
		百貨店（営業担当）	・客は買物について大変慎重であるが、やはり自分の欲しい物については、高額品、こだわり商品といったものを求める客が増えている。
		百貨店（売場担当）	・暖冬により春物の動きは昨年に比べ良くなる。近年低迷していた貴金属に動きが出て来ている。
		スーパー（店長）	・暖冬により春の到来が早く、春物、夏物の動きが良くなり、購入点数も増える。
		旅行代理店（従業員）	・4～5月にかけての団体旅行の相談が増えて来ている。また家族、グループでの海外旅行、国内旅行の相談申込みも増えて来ている。団塊世代の大量退職もありこれからの旅行シーズンに需要が増えてくる。
		ゴルフ場（従業員）	・予約は、まあまあ良い状況で推移している。
		美容室（経営者）	・近くに大型店の出店があり人の動きが起こる。
	変わらない	商店街（代表者）	・商店街の食品スーパー跡地の再開発が発表され、商店街の店主のやる気も徐々に出て来ている。
		百貨店（営業担当）	・来客数の伸びにより売上も増加している。ブランド商品は好調に推移している。衣料ファッション関連は季節的に端境期でもあり動きは鈍い。
		スーパー（店長）	・客のほとんどが、給与が上がらない、又は悪くなったと言っている。
		スーパー（財務担当）	・暖冬の影響は深刻で、単価の高い海産物の売上が落ちており、この傾向は当分続く。
		衣料品専門店（経営者）	・今年は暖冬ということもあり、春が相当早く来るイメージがあり、3月以降はそこそこいける。
		乗用車販売店（従業員）	・客の購買動向に変化は見られず、景気が良くなったとは実感できない。
		乗用車販売店（営業担当）	・この2月、3月は最需要期だが、当社を含めて自動車業界全体で動きが非常に鈍い。また、実績も、前年を大きく下回っている状況が半年前から続いていることから、この時期にこういう状況であれば、3か月先は期待できない。
		住関連専門店（経営者）	・販売量が今現在も伸びないという状態が続いている。
	観光型旅館（経営者）	・2～3か月先の宿泊の予約状況はあまり良くない。歴史小説を題材としたまちづくり計画等良い要素もあるが、実際の国内の旅行はあまり伸びておらず、しばらく横ばいが続く。	
	設計事務所（所長）	・東京など、地域外からの投資はあるが、地元での景気上昇の実感はない。	
	やや悪くなる	都市型ホテル（経営者）	・予約状況が良くない。悪くなるのではと恐れる声が多い。
		設計事務所（職員）	・昨年末から年度末にかけて、同業数社が廃業又は廃業予定となっており、業界の厳しい受注状況を反映している。総事業量の減少傾向も続く。
	悪くなる	○	○
企業 動向 関連	良くなる	—	—
	やや良くなる	パルプ・紙・紙加工品製造業（経営者）	・売価の価格修正ができ、売上、利益とも、良くなる。
		輸送業（役員）	・原油高騰も落ち着き、企業の設備投資にも積極的な動きがあり、それに伴う移転、設置作業が引き続き見込める。
		輸送業（支店長）	・案件が成約し、今月末から新規の業務が開始となった。約半年は続くため、夏場に向けて明るい材料となる。
	通信業（営業担当）	・昨年までと比べると、「景気は上向き」など、強気の声マネージャークラス、特に現場に近い客から聞く機会が多い。また、冬物に比べ春物の売行きが良いとの声を最近多く聞く。	
変わらない	一般機械器具製造業（経理担当）	・鉄鋼関係の設備投資が一段落した。また、新長期排ガス規制に対応したメーカーの発表が5月ごろと予想され、期初の業況はやや厳しい。ただ、買い換えの大口径見込み案件や九州地区からの受注が戻って来たことなどが少し明るい材料である。	

	電気機械器具製造業 (経営者)	・特定の企業では忙しく、この状況は1年ないし1年半は続く。一方、官庁関係、一般消費的な部分はかなり落ち込みが激しく、一部は良く、一部は悪い状況である。	
	電気機械器具製造業 (経営者)	・受注が回復していない。	
	金融業 (融資担当)	・主要産業である建設・土木業が、公共工事の落ち込みから引き続き低迷し、雇用の状況から小売・卸売業とも振るわない。	
	広告代理店 (経営者)	・新規オープン物件もあるが、多くの地元資本の得意先の話では依然厳しい状況が続いており、広告費としてはあまり変わらない。	
	公認会計士	・経営者の話によると、不動産価格はじわりと上昇しているようであるが、設備投資については、積極的な意見はまだ非常に少ない。将来の金利動向に非常に敏感になっている。景気が良くなるにはもう少し時間が掛かる。	
やや悪くなる	建設業 (総務担当)	・適正利潤が確保できない現状で、今後、金利引上げが予想され、赤字幅が増える。	
	通信業 (支店長)	・番号ポータビリティによる特需も薄れ、受注量が減少する。	
	不動産業 (経営者)	・同業者の中で、ごく一部の業者は非常にいい状況が続いているが、ほとんどの業者は客の動きが頭打ち、あるいは減少している。	
悪くなる	—	—	
良くなる	—	—	
雇用 関連	やや良くなる	人材派遣会社 (支店長)	・紹介予定派遣の案件が増えている。
		求人情報誌製作会社 (従業員)	・年明けから求人数、求人企業数ともに大変順調に増えており、バランスが良い状態が続く。
		民間職業紹介機関 (所長)	・製造業中心に人手不足感があり、製造が間に合わない傾向にあり、今後もこの傾向は続く。
		学校 [大学] (就職担当)	・19年度の採用活動がこれから始まることから、採用者数も少し増加する。
変わらない	職業安定所 (職員)	・新規求人数については、ここ1年ほど増加傾向で推移してきたものの、先月、減少に転じたこともあって、今後については不透明な部分が多い。	
やや悪くなる	新聞社 [求人広告] (担当者)	・現在元気なのは、県外からの進出企業や葬儀社・病院などであるが、病院もかなり陰りが見えてきた。雇用や消費を上向かせられる業界に動きは無い。	
	職業安定所 (職員)	・求職者全体の中で高齢者の占める割合が高くなっており、長期間失業している者が増加している	
悪くなる	—	—	